

学生ボランティア 朝倉作業支援活動報告

ボランティア活動センターは、リードぼらんていあキッズとともに被災地の復興支援を続けてきました。この度、元キッズのメンバーの、大学生と高校生の2名と、学生ボランティア第1号のメンバー1名、引率1名の計4名で朝倉市へ復興作業支援に行きました。

「日本九援隊」という農業支援ボランティア団体が、毎週末に、朝倉市への支援バスを博多駅から出しており、この団体に参加させていただくことになりました。

3月18日(日)、当日の参加者は80名。筑紫女学園から高校生が多数参加していました。大型バスと数台の乗用車に分かれて出発しました。

作業は朝倉市須川地区。朝倉の名前の由来となった「朝闇神社」が側にありました。神社周辺は、歩道が池側に崩れた箇所や道路の陥没が見られ、いまだに手付かずのままでした。

作業は柿畑の土砂撤去。土砂は30cmほど積もり、石を多く含んでいて、すでに表面は固くなっていました。その土の表面をスコップやクワで砕き、石を取り除きながら土砂を一輪車に積んで、畑の一角に運ぶ、この繰り返しでした。10名くらいのグループに分かれて作業するのですが、最初はみんな要領が悪くてなかなかうまく掘ることができませんでした。参加経験者の方がコツを教えてください、少しずつ掘ることができました。



作業に慣れてくると、見ず知らずの集まりなのにチームワークのようなものができてきて、作業の分担や段取りの確認なども行われました。そして「キヤーなんか幼虫が出た」とか「虫に刺された」とか女子の黄色い声も飛び交い始め、和やかに作業が進んでいきました。この日の天候は晴れ時々曇りで、かなり暑く、30〜40分作業して休憩し、十分に水分を補給してから、また作業。80名が、午前と午後の2時間ずつ、計4時間作業しましたが、町民会館の駐車場ほどしかできませんでした。



枯草と流木に覆われた所に畑に戻った



作業終了後の後片付けにも、芦屋町学生ボランティア3名は積極的に参加しました。

今回は、復興支援というだけでなく、大勢の人たちとともに活動するという体験ができたと思います。時には手順の確認などリーダー的な役割を務めたり、周りの人の様子を見てつらそうな人の作業を代わったり、危ない時には手を貸したり、声を掛けて息を合わせたり。それらのことが自然にできていて、みんな頼もしかったです。大変疲れましたが、素敵な1日でした。



クワとスコップで土砂を崩して掘ります。→ ←全員で集合写真(右上にいます)



学生ボランティア報告

【朝倉作業支援】

私は、昨年9月と今年3月に、朝倉市の災害支援ボランティアに参加しました。

9月の時は父と参加し、溝の中の土の除去を行いました。作業は約20名でスコップを使って作業をしました。途中、土が硬かったり軟らかいところがあったりと、やり終えた時の疲労感は尋常ではありませんでした。まだ除去しきれてない場所がたくさんあり、これを何日も続けて行っていると胸が痛みました。その他にも山の斜面が崩れ、家が埋まっている風景や、除去をして山積みになっていった瓦礫やゴミの風景も今でも思い出します。

今回は、芦屋町学生ボランティアとして、柿農家の土木作業をしました。

前回と比べ、被害がひど

い場所、その風景を見たときいまだに回復できていない所があるのだと痛感しました。作業は9月に行った時よりも身体的にもきつく正直過酷でした。一日でも早く復興させようと思う気持ちで行動出来ました。

最初は、道具の使い方がよくわからず、周りの人に教えてもらいながら作業しました。個人としては社会勉強の一つになりました。

作業を行っているうちに遠くで見た風景と近くで見た現状の迫力の差が、印象に残りました。

私は、災害支援ボランティアに参加して自然災害の怖さを再認識できました。今後、私たちが住んでいる芦屋町がこのような災害が起きた時のための対策を、改めて考えるべきではないかと思いました。

九州共立大学1年 柳 洸一



ボランティアコラム 第70回 廣田芳佳
考えるより先に！

ある日のこと。御牧大橋を芦屋から高須方面に車で向かっていました。北九州市営バス営業所の交差点付近が渋滞していて、どうやらソフトバンク前の横断歩道で事故が起こったようでした。

信号で停まりそちらを見ると自動車同士の事故ではなく、人が倒れているようでした。自転車かな？私がある車線の先で数名の人が対処している最中で、信号が変わると車両の多い道路のため、後続の車に接触される可能性もあると思います。ハザードランプをつけてゆっくりと現場に近づきました。間隙で車を停めてバックミラーを見ると、後ろのトラックも同じようにハザードランプをつけて停まりました。

「どうしようかな」と私が様子を見ながら迷っている間に、後ろのトラックのドライバーが降りて現場に走りました。

自転車に乗っていたのは高齢の女性でした。周りの人たちは、携帯で警察や消防署に連絡を入れていました。女性は自力で立ち上がれないようで、そこにいた高齢男性が支えて立たせようとしていましたが、なかなか難しい。そこにトラックのドライバーが駆け寄り反対側から支え、歩道まで移動することができました。

私は、車を降りはしましたが、現場にいた事故連絡をしていた女性から大丈夫ですと手で示され、自転車も撤去されたのを見届けて、事故に遭われた女性の無事を祈りつつ現場を離れました。

対処の早かったドライバーさん、そして周りの通りすがりの方や、店舗から出てきて対処していた方。とても素敵です。

「しまった出遅れた」は私の心の声。考えるより先に動けるようになりたいなと思いました。

★断捨離マーケット開催決定！

家の中の不用品を断捨離しましょう



◆実施予定日 5月19日(土)

◆会場 町民会館大ホール

詳細はボランティア活動センターまで ☎093・221・1011

★各種教室 (見学できます。詳細はお問い合わせ下さい)

■デジタル写真教室

・ADPC(火曜日 13:00)

■福祉支援教室

・芦屋町手話の会 (月4回 水曜日 19:00)

・ハーティネットあいあい視覚障がい者支援 (月2回 木曜日 13:00)

■手作り教室

・さくら会〈洋裁教室〉 (水曜日 10:00)

・でんでんむし〈布絵本教室〉 (木曜日 10:00)

■英会話教室

・AEGC (木曜日 10:00)

★編集後記★

平成29年3月にリーどぼらんていあキッズ1期生の卒業パーティーをしました。この時に、学生ボランティアの設立について相談しました。設立決定の後、平成29年度の活動についても話し合いました。メインの活動として熊本に復興支援に行こうと決めました。彼らの数名は復興支援活動として平成25年度に八女市に行ったメンバーで、学生の間にもう一度経験したいと申し出がありました。活動は農業や土木の作業支援、時期はクラブ活動などがなく、学生の時間が取れる翌年平成30年の春休みと決定しました。

7月に九州北部豪雨災害が起こり、支援先を朝倉に変更し、平成30年2月に日程を調整しました。3月18日に実現できました。

一緒に参加したおばさん廣田は、極度の筋肉痛に襲われましたが、学生たちの活躍、大勢での活動と心がすっきり晴れるような体験でした。桜が咲いています。 廣田

